

和歌山市を、さらに前へ!

Wakayama City, moving forward!

2期8年の成果

意識を改革

難問を解決するために職員一丸となり
取り組む姿勢が変わりました。

福祉を充実

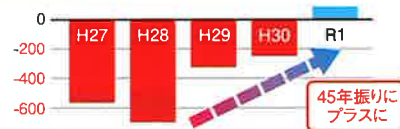
改革の成果で生まれた財源を元に
福祉予算を大幅に伸ばしました。

借金を改善

財政再建のために全力を尽くして
借金145億円を改善しました。



●社会動態(転入-転出)



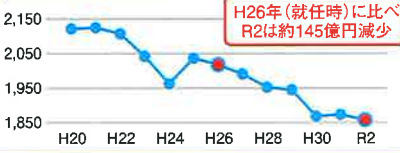
●補助事業と単独事業の割合



●福祉予算の伸び率



●実質の起債残高



お ば な

尾花まさひろ

【経歴】◎氏名/尾花正啓◎生年月日/昭和28年4月25日◎学歴/東京大学農学部・工学部卒◎略歴/昭和55年和歌山県庁採用、平成20年和歌山県庁道路局長・23年県土整備部技監・24年県土整備部長歴任(平成25年市長選立候補の意を固め退職)◎主な役職/和歌山県市長会会長◎現住所/和歌山市高松◎趣味/ウォーキング◎家族/妻・双子の息子・愛犬くう(雑種)◎身長/176cm◎体重/72kg◎血液型/B型

尾花まさひろ事務所

〒640-8141
和歌山市屋形町2丁目10番地
TEL.073-499-5101
FAX.073-499-5202



ふるさとで学び働けるまち

- ① 学生が「集まる」「つながる」を地域の力にします。
 - ▶さらなる大学、専門学校等の誘致に加え、学生の地域活動を支援
 - ▶奨学金制度を充実し、地元雇用を促進
- ② 地元企業の振興を強化します。
 - ▶市内企業生産性向上の支援制度拡充
 - ▶和歌山環状北道路、和歌山北ICフル化(南方向出入口)の促進
- ③ 新たな産業の誘致を行います。
 - ▶移住につながる企業誘致や、サテライトオフィスの誘致
 - ▶新技術活用やグリーン成長戦略を通じた新産業創造
- ④ 農業・水産業などの1次産業を守り、振興します。
 - ▶農水産物のブランド化
 - ▶民間事業者との連携を通じた、さらなる海外販路の開拓
- ⑤ 地域に貢献する観光を目指します。
 - ▶地域の人々から喜ばれる観光地の整備
 - ▶スポーツ・文化・医療ツーリズムや、メタバース(仮想空間)など新たな観光形態の推進



県都として活力にあふれたまち

- ① 「水と緑の環境都市」を目指します。
 - ▶“かわまちづくり”と水上交通の推進
 - ▶和歌山城扇の芝と緑の回廊(グリーンベルト)の整備
- ② 誰もが移動しやすいまちを実現します。
 - ▶交通不便地域に誰でも100円で乗れる巡回バスを運行
 - ▶新駅設置などで鉄道利便性や、バスなどとの乗り継ぎを向上(MaaS推進)
- ③ スポーツ・文化・芸術を振興します。
 - ▶様々な年齢のスポーツ環境の整備、多目的なeスポーツ等、新たなスポーツ推進
 - ▶和歌山城ホールを活用した文化・芸術の推進



子どもたちがいきいきと育つまち

- ① 安心して子どもを産み育てる環境を整備します。
 - ▶産後ケア事業、一時預かり、病児病後児保育
 - ▶不登校、ヤングケアラー問題などへの子ども総合支援センターの機能強化
- ② 子どもが健やかに育つ環境を整備します。
 - ▶こども医療費無償化を高校生までに拡充
 - ▶保育士の確保と多様な保育による待機児童の解消
- ③ 「確かな学力」と「たくましく生き抜く力」を育みます。
 - ▶少人数学級の推進・特別支援教育の充実、スクールカウンセラーの配置
 - ▶中学校全員給食の早期実施、中学校給食無償化、オーガニック給食の推進
- ④ 安全・安心な教育環境を整備します。
 - ▶小中学校のトイレの洋式化、中学校体育館空調整備の推進
 - ▶学校施設の老朽化対策、照明器具のLED化の推進

誰もが安心して暮らせる優しいまち

- ① コロナの克服を目指します。
 - ▶保健所機能を維持するための「保健所サポートセンター」を設置
 - ▶救急医療体制逼迫(ひっばく)時の待機ステーションの設置
- ② 高齢者の福祉を充実します。
 - ▶健康体操、生きがいづくり、歩いて楽しめる環境づくり
 - ▶地域包括ケアシステムの強化
- ③ 障がい者に優しいまちづくりを推進します。
 - ▶生活における支援や社会参加・自立支援の促進
 - ▶バリアフリーまちづくりを推進
- ④ 災害への備えと消防・救急体制を充実します。
 - ▶紀の川治水対策、農地防災の国への働きかけと市内中小河川の治水対策
 - ▶住宅耐震化、空き家対策の促進
- ⑤ 紀の川北部新浄水場建設など上下水道整備。
 - ▶紀の川北部新浄水場と複線化
 - ▶公共下水道の整備推進と下水処理施設等の更新

